

幅広い病害に有効で耐性菌がでにくい
オキシテトラサイクリンでしっかり防除。
永年の実績と信頼のブランド。

殺菌剤

マイコシールド®

®は日本曹達(株)の登録商標です。



日本曹達株式会社





マイコシールド® 2つの特長

1 広範囲抗生物質テトラマイシンを高濃度で配合

広範囲抗生物質テトラマイシン(一般名:オキシテトラサイクリン)を17.0%の高濃度で処方した殺菌剤です。そのため、作物の病原細菌に対して、高い抗菌活性を示します。

2 核果類果樹の細菌病に対する高い防除効果

核果類果樹(うめ、もも等)の細菌病に対しては、特に高い抗菌活性を示します。

成分・性状・安全性

●一般名:オキシテトラサイクリン水和剤

殺菌剤分類 41

●物理的・化学的性状:淡褐色水和性粉末 63 μ m 以下

●有効成分:

アルキルトリメチルアンモニウムカルシウムオキシテトラサイクリン 31.5%
(オキシテトラサイクリンとして..... 17.0%)

鉱物質微粉、界面活性剤等 68.5%

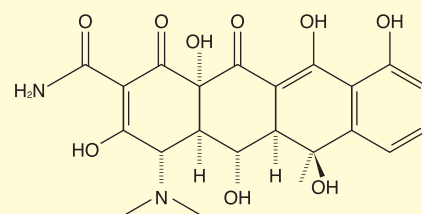
●人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効成分オキシテトラサイクリン(OTC)とは

1.放線菌 *Streptomyces griseus* から産出された天然の抗菌性物質です。

2.細菌のタンパク質合成を阻害することで、高い抗菌活性を示します。

●化学式



■ 効果試験成績

うめ かいよう病に対する防除効果

1999年 和歌山県農林水産総合技術センター果樹試験場



実の症状



葉の症状

【試験概要】

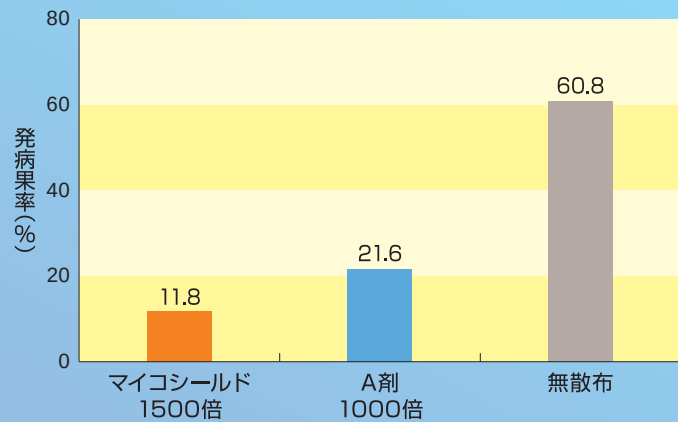
発生状況: やや多発生

品 種: 南高9年生

区 制: 1区1樹 4連制(対照区は5反復)

散 布 日: 4/1、4/12、4/22、5/3(計4回)

調 査 日: 6/8



防除価	87.8	76.9	—
-----	------	------	---

もも せん孔細菌病に対する防除効果

1981年 佐賀県果樹試験場



実の症状



葉の症状

【試験概要】

発生状況: 並

品 種: 大久保5年生

区 制: 1区4樹

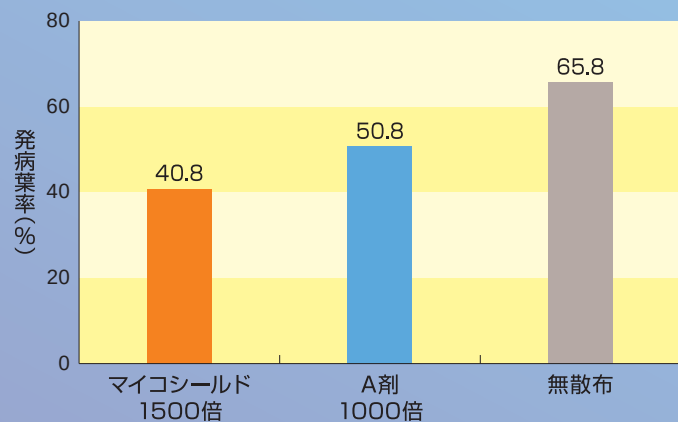
散 布 日: 5/7、6/10、6/18(計3回)

降雨日数と降水量: 5/7～6/10(9日、135.5mm)

6/10～6/18(5日、51.5mm)

6/18～7/1(11日、468.5mm)

調 査 日: 7/1



殺菌剤

マイコシールド®

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキシテトラサイクリンを含む農薬の総使用回数
もも	せん孔細菌病	1500～3000倍	200～700ℓ /10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内
ネクタリン		1500倍		収穫28日前まで			
すもも	黒斑病	2000倍		収穫21日前まで	3回以内		3回以内
おうとう	樹脂細菌病	1500倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
うめ	かいよう病			収穫21日前まで	4回以内		4回以内
あんず		1500～3000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
かんきつ (みかんを除く)		1000倍		収穫30日前まで			
みかん				収穫60日前まで			
だいこん		軟腐病	750～1000倍	100～300ℓ /10a	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
きゅうり	斑点細菌病	1500倍	—	は種前	1回	1～2時間 種子浸漬	1回
トマト	かいよう病	1000～2000倍	100～300ℓ /10a	※収穫開始 7日前まで	2回以内	散布	2回以内
ブロッコリー	花蕾腐敗病 軟腐病 黒腐病			収穫14日前まで			
キャベツ	黒腐病			収穫7日前まで			
ばれいしょ	軟腐病	1000倍		収穫21日前まで	5回以内		5回以内 (種いもへの処理は1回以内)
樹木類	枝枯細菌病		200～700ℓ /10a	新梢伸長期 ～発病初期		5回以内	

※トマトの使用時期は収穫開始7日前まで(収穫開始後は使用しない)。

△ 効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布してください。
- もものせん孔細菌病に対しては、ときには葉先の黄化などの薬害を生じるので注意してください。
- きゅうりの種子消毒に対しては、播種前に種子を所定の浸漬時間及び希釈倍数で処理してください。
- うめに使用する場合、希釈倍数等使用方法を誤ると、葉の退緑斑、果皮の退緑化等の薬害を生じるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

△ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■ 保管

- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。

2025年2月現在の登録内容に基づいています。